

□ 脱炭素 × SDGs オーガナイザー育成プログラム 応募方法

応募期間：～令和5年8月5日(土) → 28日(月)

応募方法：応募フォーム (<https://forms.gle/wWynCqVfR5rAnjaU6>)
または応募用紙を下記 HP よりダウンロードし、
問い合わせ先 (office@hso-t.com) へメールで送付。



▶ 8期生応募
QRコード



▶ 単発講座
申込 QRコード

単発講座のみの受講希望者は、
応募フォーム (<https://forms.gle/W7FuZTyguGMqZ6zM7>) または、
氏名・連絡先・講座参加日を下記問い合わせ先へメール送付。

お申込みから受講開始までの流れ：

応募書類受信 ▶ 応募書類による選考(地域性、公益性) ▶ 受講決定通知(8月末頃) ▶ 受講料のお支払い ▶ 受講開始
※途中からの受講も可能です。受講していない講座については、録画データを貸出いたします。
※単発講座のみ受講の方は、原則開催日の5日前までに参加申込・参加費は当日支払

問い合わせ・応募先：※原則メールでのお問い合わせをお願いします。

ひょうご持続可能地域づくり機構 (HsO)
(事務局：一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所 (Hsl)) 担当：中川、霜倉
〒541-0042 大阪市中央区今橋 3-1-7 日本生命今橋ビル 10F (株) 地域計画建築研究所(アルパック)内
E-mail: office@hso-t.com Tel: 06-6205-3600



▶ HsO の HP QRコード

ひょうご HsO 検索

ご関心のある方はまず、セミナーや説明会へ

ひょうご脱炭素経営セミナー【締切：7/7まで】

●日程：令和5年7月12日(水)14～16時(受付：開始30分前)

●開催場所：ハイブリッド(会場：サンフランシスコ)
ラッセホール5階サンフランシスコ(山手通 4-10-8)

●プログラム
・「兵庫県の脱炭素化に関する取組紹介」 兵庫県環境部環境政策課
・「脱炭素経営入門」 畑中 直樹氏(ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)代表理事)

・「これから始めるCO₂排出量の算定・効率的な手法で取り組む脱炭素経営」
清水 倫氏(三井住友銀行サステナブルソリューション部
サステナビリティエキスパート)

・「カーボンフットプリントの普及促進」
小嶋 公史氏((公財)地球環境戦略研究機関(IGES)
関西研究センタープログラムディレクター)

●セミナー申込方法(参加無料)

下記フォームより申込みください。
(<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1685954657023>) ※アクセス出来ない方は、下記メールアドレス
にご連絡先(E-mail、電話番号、所属、住所)、参加方法(会場・Web)
をお送りください。
▶ 兵庫県環境部環境政策課温暖化対策班
TEL: 078-362-3273 FAX: 078-382-1580
E-mail: kankyouseisakuka@pref.hyogo.lg.jp



Web 説明会【締切：説明会前日まで】

●日程

・令和5年7月23日(日) 10時30分～11時30分
・令和5年7月29日(土) 10時30分～11時30分

●対象者
・兵庫県下、社会・地域の脱炭素化やSDGs達成に貢献する活動
や新規事業等をお考えの方、学生、社会人など、どなたでも大歓迎

●開催場所：オンライン

・オンライン会場 URL は、別途メールでお知らせ

●内容

・第8期プログラム概要
・質疑応答
・個別相談会(希望者のみ)

●参加費：無料

●Web説明会 申込方法

申し込みフォーム(<https://forms.gle/eNpHdZRZnUAjxvrX9>)
からお申し込みください。
アクセス出来ない方は、office@hso-t.comに、参加日時、氏名、
所属、住所、ご連絡先(E-mail、電話番号)を下記メールアドレスへ
お送り下さい。

QRコードからでも申込みフォームに進めます▶



ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)とは

当機構(HsO)は、人類的な課題となりつつある気候変動対策や生物多様性の保全と、地域の持続に向け、地域が中心となって取り組むため、環境省の人材育成モデル事業を契機として2015年に兵庫の但馬・豊岡の地で発足し、持続可能地域(サステナビリティ・オーガナイザー)の育成に取り組んでいます。

構成：兵庫県、兵庫県立大学、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、丹波篠山市、丹波市、姫路市、相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町、(株)地域計画建築研究所(アルパック)、(一社)ひょうご持続可能地域づくり研究所

【事業パートナー】

豊岡商工会議所、豊岡市商工会、(株)但馬銀行、但馬信用金庫、NPO法人コウノトリ市民研究所、NPO法人暮らしのエコをすすめる但馬の会、姫路商工会議所、姫路市商工会、宍粟市商工会、(株)三井住友銀行、(株)みなと銀行、西兵庫信用金庫、但馬信用金庫

【理事】

菅 範昭(兵庫県 環境部長)
上西 琴子(兵庫県 環境部次長)*監事
坂本 成彦(豊岡市 コウノトリ共生部 部長)*監事
小谷 祐介(姫路市 環境局環境政策室長)
中村 仁志(宍粟市 産業部長)
土川 忠浩(兵庫県立大学 環境人間学部 環境人間学科 教授)
畑中 直樹(地域計画建築研究所(アルパック) 取締役)*代表理事

一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所(Hsl)とは

修了した受講生とともに持続可能な地域づくりに向けて、事業の具体化、社会への
実装を共に進めていくため、一般社団法人ひょうご持続可能地域づくり研究所
(Hsl)を平成29年4月に設立しました。本事業の事務局を担当しています。

※平成29年4月11日設立、同5月9日登記

脱炭素 × SDGs オーガナイザー育成プログラム

兵庫県をフィールドに、全国の実践者の講師の方々から
新たな事業づくり・地域づくりのノウハウを学び、実践的な事業計画の組み立てを行う

第8期生募集【令和5年8月28日(月)〆切】



こんな思いの方におすすめ!

今の事業や活動をステップアップ
させたい方!



社会や地域に貢献する活動を
してみたい高校生や大学生の方!

脱炭素、SDGsに取り組みたい
地域事業者の方!

退職後、新しい仲間と
地域に貢献する事業をスタートさせたい方!

〆切延長 8/5 → 8/28 !! 応募内容は裏面へ

当プログラムを法人受講し、認定を受けた中小企業者が対象となる融資制度がスタートしています。

主催：兵庫県・公益財団法人ひょうご環境創造協会(運営：ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO))
【事務局：一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所(Hsl)】



■プログラム概要

これからの事業づくり・地域づくりに必要な視点を学ぶ「学びの講座」と実践的な事業・活動計画の組み立てを学ぶ「実力をつける演習」。

20名程度の少数精鋭の中身の濃い講座で、受講生同士・修了生、さらに、全国のトップランナーの講師の方々との地域内外のネットワーク形成も可能です。

修了後も、機構が各受講生のフォローアップを行うとともに、修了・認定者同士のサポート・連携促進も行います。

【受講生へのサポート】

各コースの受講者は欠席回について動画等の視聴によるフォローを受けることができます。



個人、チームに分かれて、テーマを具現化するための調査・計画づくりを実践的に学びます。演習テーマは、自分が関心のある分野・内容により最終決定し、脱炭素とSDGsを掛け合わせた取組の具体化を学びます。

【テーマ例】

- ① 地域貢献型再エネの導入に関する取組・事業について
- ② 地域経済循環を促進する脱炭素化の取組・事業について
- ③ 誰一人取り残さない、地域脱炭素化の取組・事業について



□プログラムの詳細

対象

- SDGsの理念を基盤とし、脱炭素化を目指した持続可能な社会の実現のために、事業づくりや地域づくりを率先して進めたいと考える方
- 地域との関わり、多様なセクターとの連携、事業の継続実施をコーディネートしたいと考えている方
- 兵庫県内在住・在勤の個人、事業者、地域事業者をサポートする金融機関、NPO 団体職員、中学生、高校生、大学生、地方公共団体職員など

- (定員) 20名程度 *HsO 全体にて選考を実施
- (受講料) 【個人】25歳以下：無料、35歳以下：10,000円、左記以外の個人：15,000円
【法人】25,000円(1回の講座につき同法人から2名まで参加可)
*視察等は上記以外一部実費負担あり。
- (認定) 単発講座受講も受入 学びの講座：1講座 3,000円
講座を受講し、チームによる活動・事業計画立案演習により一定の能力を身に付けた方を、サステナビリティ・オーガナイザー(持続可能地域士(SO))に認定する。

○修了生・認定者の声

最初は講義の内容を理解することに精一杯でしたが、1年を通して環境問題や地域課題を身近なものとして解決するための動きを考えるようになっていきました。自分達の計画を実際に事業化していくための動きを事業者・活動者の方たちと一緒に経験できたことは、大学ではできない大変貴重な経験でした。
兵庫県立大学環境人間学部 北村 菜々海さん



オーガナイザー育成プログラムという扉を前にして、中へ入るべきかどうか不安を感じる方が多いと思います。SDGsを通して社会のお役に立ちたいという思いはあるものの、どうしたらいいかわからない、自分もそうでした。しかし、扉の中に入ると、専門家の講話、実際の現場での体験、同じ思いを持つメンバーとの対話など、新しい世界が現れます。HsOでの活動は、最初感じた不安から大きな期待に変貌します。ぜひこのチャンスを活かしてください。
神戸大学経済経営研究所 非常勤講師 尾島 雅夫さん



2021年11月から職場で、SDGsに関連する仕事をしていたのがきっかけで、第7期生として参加しました。講師の方から、脱炭素やSDGsについての最新の情報を得ることができました。またチームで職業や世代の違った方たちと多様な視点からの意見を交わすことができたことが、何よりも楽しかったです。
姫路商工会議所 姫路経済研究所 主席研究員 岩根 和哉さん



このプログラムのメリットは、①実際に脱炭素やSDGsに関する事業を立ち上げ実践されている講師の生の声を聴ける事。②年代や経歴の異なる受講生が協力して共通の課題解決に取り組める事。③講座、視察研修、演習と実践的な事業計画の組み立てを学べる事です。持続可能な地域づくりの為に、持続可能地域士の輪を広げましょう。
ハリマエムアイティ株式会社 中野 裕介さん



*プログラムは変更する場合があります

□講座のスケジュール

実施場所 時間	◎神戸市周辺の会場・オンラインのハイブリッド方式(オンラインのみの開催とする可能性があります。) ◎13:30 ~ 16:30 頃	
開校式	ガイダンス及び第1回：地域で取り組む脱炭素化・地域循環共生圏	
令和5年 9/2(土)	畑中 直樹氏 ひょうご持続可能地域づくり機構 代表理事 (一社)ひょうご持続可能地域づくり研究所 代表理事	博士(環境科学)。1964年横浜生まれ・福岡市育ち。大阪大学工学部環境工学科卒業後、一貫して地域の環境問題・持続可能な地域づくりに取り組むかたわら、(財)地球環境戦略研究機関(IGES)客員研究員、大阪大学大学院工学研究科招聘教員(環境・エネルギー工学専攻)、行政の各種委員等を務める。また、自然再生や森林・木材関係のNPO等の役員としても多数活動。総務省地域創造アドバイザー、(一財)地域総合整備財団(ふるさと財団)地域再生マネージャー。
学びの講座	第2回：脱炭素化社会・地域循環共生圏のはじめかた - 実践を通じて -	
令和5年 10/7(土)	深尾 昌峰氏 龍谷大学副学長 / 政策学部教授	熊本県出身。滋賀大学大学院修了。2001年に日本で初めてのNPO法人放送局「京都コミュニティ放送」の立ち上げに参画(事務局長、理事長などを歴任)。公益財団法人京都地域創造基金の理事長に就任('09年~'18)。その他、経済財政諮問会議専門調査会「選択する未来委員会」委員などを歴任。2012年には社会的投資を促進する株式会社PLUS SOCIALを起業。2014年グッドデザイン賞を受賞。2010年4月に龍谷大学准教授に就任し2011年4月から政策学部准教授、2018年から教授。2022年4月からは副学長も務める。
学びの講座	第3回：脱炭素化社会に求められる事業の視点・あり方について	
令和5年 10/22(日)	大久保 和孝氏 株式会社大久保アソシエイツ 代表取締役社長 公認会計士 (元 EY 新日本有限責任監査法人経営専務理事)	慶應義塾大学卒。(株)商工中央金庫取締役、(株)セガサミーホールディングス取締役(監査等委員)等の社外役員に多数就任のほか、理化学研究所客員研究員、慶義大学大学院政策・メディア研究科客員教授、長野県農業大学校客員教授等を歴任。水素を蓄電に活用する技術を開発する(株)メグレナジー(代表取締役副社長)、宇宙でのレーザー利用を目的としたスペースレーザーテック/ノゾーシス(代表取締役社長)、PCRなどの検査を行う(株)SSDF(代表取締役社長)などを起業。そのほか、政府等の多数の役職につき、長野県・宮崎市・日南市・鎌倉市コンプライアンス担当委員、地方活性化支援として大阪府・長野県・夕張市・京丹後市・気仙沼市・金石市の参与・アドバイザーを歴任。キリンビール地域創生トレーニングセンタープロジェクト運営委員等。
公開講座	第4回：持続可能な地域づくりに必要なこと	
令和5年 11/25(土)	澁澤 寿一氏 澁澤事務所 代表(澁澤栄一曾孫)	1952年、東京生まれ。東京農業大学大学院博士課程修了(農学博士)。1980年、国際協力事業団(JICA)専門家としてパラグアイ国立農業試験場に赴く。帰国後、循環型都市「ハウスステップス」の設立に携わり、企画段階から建設・運営段階まで経営に関わる。2002年より、全国の高校生100人が「森の名手・名人」や「海・川の名人」をたずねて聞き書きし、発信する「聞き書き甲子園」に携わる。また、豊田市・トヨタ自動車・NPO 共催「豊森(とよもり)なりわい塾」実行委員長を務め、過疎地に定住する若者の育成を進めながら、多業社会の実現を目指す。社会づくりでは、岡山県真庭市にて、1998年より「里山資本主義」の実現に携わる。「真庭バイオエネルギー株式会社」代表取締役。世田谷区教育委員他。
視察合宿	先進的な取り組みを視察します(日帰り、または、1泊2日)。	
令和5年 11月頃 (調整中)	持続可能な地域づくりに資する事業・活動やSDGsに取り組む先進地を視察します。地域で活躍する先駆者の方々の想いや活動の経緯等のお話を伺うとともに、自分達の事業や地域づくりでどのようなことを活かせるか、またどのような活動をしていくのかを考えます。 (視察候補：兵庫県淡路市 / 兵庫県宝塚市 / 兵庫県豊岡市)	
演習 (11~2月頃) ※各チーム毎 日程調整	第1回：事業計画組み立て / 取り組むテーマ・仮説 第2回：事業計画組み立て / 仮説検証のための調査結果持ち寄り・組立 第3回：事業計画組み立て / 発表練習 個人、チームに分かれて、事業の組み立てを行います。また、各回はチームごとに集まり、組み立てを行います。	
	【多様な分野のメンター陣】	
	佐藤 拓也氏 総務省地域情報化アドバイザー 一般社団法人コード・フォー・ジャパンフェロー YuMake 株式会社 代表取締役 CEO	宮垣 健生氏 但馬信用金庫 常務理事 総合企画部長
	大学院時代には、気象予測モデルを使用したシミュレーションを活用した事例研究を行う。その後、SE、民間気象情報会社を経て、気象業界を変えるべく独立しYuMake 合同会社を設立。2023年5月には、事業拡大のため YuMake 株式会社に組織変更。気象データの提供を通じて、アプリや Web サービス等の付加価値向上、データ分析サービスへの気象データ活用に取り組む。また、Code for Ikoma の立ち上げを機に、視野を広めることも含めて CivicTech や GovTech の領域へも挑戦。地域におけるオープンデータ活用・IT を活用した地域活性化のほか、行政における伴走型ワークショップなども実施している。	兵庫県豊岡市生まれ。但馬信用金庫では審査・組織戦略・リスク管理・職員研修・地域ビジネス創出支援等の業務を経て現職に。東京都で運営するスタートアップ支援組織 NEXStokyo のメンターも務める。内閣官房2017年度、2019年度、2020年度、2022年度の地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』にも選出。持続可能なビジネスをゼロから構築する地域創生プロジェクト創出に注力。
	木築 基弘氏 株式会社 キツキ商会 代表取締役	第1期サステナビリティ・オーガナイザー(持続可能地域士)。但馬夢テーブル委員会 9~10期 委員長。長年、再生可能エネルギー導入等や持続可能な地域づくりを実践。地元の但馬地域では、若者が大学卒業後、7割以上は地元に戻ってこない事に課題を感じ、1期生でのテーマは、「Uターンの促進」。そのため、子どもたちのシビックプライドを高めるための行事を開催し続けたり、地域づくりの高校生サークル Mikes を顧問として支えたり、様々なキャリア教育の場も創出。環境(SDGs)については、地域の様々な活動団体や施策に関わりながら、県内での講師や、イベントの開催を実践し続ける。
	上記、メンター陣ほか、HsO メンバーもメンターとして伴走します。	
修了発表 (令和6年3月頃)	成果を発表し、要件を満たす方を修了およびサステナビリティ・オーガナイザーとして認定	

*演習等の日程については、受講生の予定も加味し、決定します。
*プログラムは変更する場合があります